



At the heart of the image

写真部応援マガジン

Top Eye

boys & girls photo magazine

No.277

Early Summer 2014 6-9

第171回
TopEye
賞

「能動的4分間」大田 綾花 (大阪府立成城高等学校3年)



ガンバレ写真部!
一見ゆるふわ…やるときゃトコトン!
静岡県立下田高等学校

視想講座 VOL.271
好きなことを、自分でどんどん突き詰めよう
穴戸 開

めざせ傑作!! わくわくデジタル写真ゼミ 第7回
人物スナップには「オキテ」があるぞ!!

PhotoPhoto OB/OG 訪問
八代白百合学園高等学校 OG 中村 真央さん
ふるさとの魅力を、写真で伝えたい!

Nikon News

第62回ニッコールフォトコンテスト
第4部『U-31』もうすぐ締切!

Nikon College
ニコンカレッジ

Photo Photo SALON 171st

2014年度 vol.1



審査員 小林紀晴
1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポータルに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。



TopEye賞

表紙に大きく載ってるよ!!

「能動的4分間」大田 綾花

大阪府立成城高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●M (1/200秒・f/10、1/80秒・f/10、1/200秒・f/10、1/40秒・f/5.6)
●ISO400、400、400、640

4枚組の組写真です。リンゴ、足、腕にタコの足が絡み付いています。かなり引き込まれました。グロテスクでありながら、どこかエロティックさもあるからです。写真家・今道子さんの作品を連想させました。アイデアはもちろんです。撮る過程に粘りを感じました。アイデアは面白くても、実際に撮った写真がそれに追いつかないということがよくあります。でも、この作品は、両者が見事にシンクロしています。完成度が高いのです。コメントには「自ら行動する私の心情を写真で表現」とありました。心象を具現化する。簡単なことではありません。これからも、常識にとらわれず果敢に挑戦してください!

第171回 TopEye賞受賞 大田 綾花さん 受賞のコトバをどうぞ!!



今回で2度目のトップアイ賞を頂き、とても嬉しく思っています。格好良い事は何も言えませんが、心の動いたまま、「能動的」衝動で撮りました。今回の賞は、協力してくれた友人、応援してくれたみんな、そして顧問の先生と共に作り上げた作品です。本当にありがとうございました。



「時の旅人」林 愛美

山口県立下松高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ
●50mm (1枚目)、28mm (2、3、4枚目)
●Aオート (f/1.8、f/2.8、f/1.8、f/1.8)
●ISO1600 (4枚とも)

4枚の写真から宮沢賢治を連想しました。山高帽、外套、古めかしい革の鞆からそう感じたのです。空想や想像の続きを写真におさめる。そう簡単ではありません。一枚一枚丁寧に撮られています。なにより3枚目の帽子が宙に浮いている写真が効いています。現実世界に、この青年はいないのだと印象づけるからです。青年の表情(髪型も含めて)が現実味が薄く、タイトルにふさわしいと感じました。ただ、光がフラットすぎます。陰影を強調した撮り方で、よりメッセージ性が強くなったと思います。是非、試してみてください。

白紙の状態で楽しんだ初めての出会い/小林紀晴

今回から、大西みつぐ先生の後を引き継ぎ「Photo Photo Salon」の審査をやらせていただきます。どうぞ、よろしくお願い致します。初めての審査でかなり緊張気味に臨みました。前回より応募数が増えたこと聞き、プレッシャーも大きくなりましたが、それだけに競争率も上がり、選ばれた作品の質も高かったのではないのでしょうか。きっと応募される側にも傾向と対策というのがあると思うのですが、審査する側にもそれはあります。少なくとも全体の傾向を知ることは大切だと思います。大人の写真愛好家の方を対象にした審査の経験はこれまでに何度もあるので、その傾向はなんとなく把握しているつもりです。でも、中高生のみさんの写真をまとめてみるのは初めてでした。ですから、傾向も対策もないに等しい状態でした。きっと、両者が白紙の状態で臨める機会はそうは多くはありません。回を重ねるごとに、私の選考の癖が明らかになっていくこともあるでしょう。でも、できるだけ個人的な好みだけでは選ばないようにしていきたいと思っています。何より真摯に選考していきたいと考えています。ともかく、初めてというのは、どんなことでも一回限りです。素敵な初めての出会いとなりました。

入賞作品はニコイメーキングのサイトに掲載!チェックしてみよう!

<http://www.nikon-image.com/activity/topeye/>

最新の応募用紙もダウンロードできるよ!



「放課後系男子」林 直輝

愛知県立津島東高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●55-250mm
●オート(3枚とも) ●ISO400(3枚とも)

光をよく見えています。光があるから影が生まれ、影があるから光も強調されるのだと、改めて強く感じさせる組み写真です。タイトルも、とてもよいと思います。造語でしょう。言い過ぎず、その逆でもない。このタイトルにしたことにより、3枚が見事に束ねられています。授業は終わって、いつ帰宅してもいいのになんとなく学校に居続ける。穏やかで、何故か心地よいひととき。多くの人が経験したことのある感覚だと思います。その感じが、きちんと観る側に伝わってきました。一人ひとりの表情もとてもよいです。モノクロで撮ったことも成功しています。

「威圧感」目黒 汐莉

宮城県白石高等学校2年
●デジタル一眼カメラ
●40-150mm
●オート
●ISO800

何気ない写真です。でもとても好きな一枚でした。理由は、ここには本当の「こと」が写っているからです。写真のための写真ではないともいえるのでしょうか。リアルなのです。でもここでの「こと」は大きな出来事では決してありません。応援風景でしょうか。バンカラ風な男物の学生服を身につけた女子生徒。確かに威圧感があります。同時に、けなげにも、かぼそくも映ります。美しくも、かわいくもあります。長い髪に学生服姿は違和感、大ありです。そのアンバランスさが魅力なのです。きっと目黒さんは一言では言い表せないそんな魅力にピンときたのでしょう。



「落日」足岡 桃実

島根県立松江南高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●Pオート(3点とも)
●ISO800、6400、400

とても感覚的な写真だと感じました。作者は移ろいゆくものに対して、敏感な感性を持っています。当然ながら、たくさん撮った写真の中からこの三枚を選んだはず。その選びのセンスにハッとさせられます。タイトルにも同じことを感じます。手の中のコオロギ。この写真が強く、全体を引っ張っています。落日という言葉とは直接関係などないけれど、その場に流れていたであろう空気を、こちら側に運んでくれます。これから世界を鋭く切り取り、自分のものにしていくといいですね。期待しています。

準TopEye賞

TopEye賞

入選

ニコンデジタル一眼レフカメラ
D3300レンズキット

賞状



準TopEye賞

佳作

ニコンデジタルコンパクトカメラ

賞状



ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状

ニコンオリジナルポーチ、賞状

準佳作

賞状

毎回応募で

狙え！年度賞

6-9月号 10-11月号 12-1月号 2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出！

受賞ポイント

TopEye賞	100ポイント
準TopEye賞	70ポイント
入選	50ポイント
佳作	30ポイント
準佳作	10ポイント
皆勤校ポイント	20ポイント

最優秀賞 合計ポイント1位の学校

優秀賞 合計ポイント2位の学校

敢闘賞 合計ポイント3位の学校

受賞校に
ニコンデジタルカメラ、
エプソンプリンター、
賞状、額をプレゼント！

大舞台も待っている！ 毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニココールフォトコンテストU-31 (Under31) 部門」にノミネート！キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ！

佳作



「永遠の少女」上條 麻央

大阪府立生野高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●M (1/80秒・f/5)
●ISO1600

お母さんを自宅の洗面所で撮った一枚です。自宅だけに、確かにスッピンようです(笑)。それだけに素の表情がでていて素敵です。なにより、作者とお母さんとの関係を強く感じさせます。ふたりの声が聞こえてきそうです。他の人には撮れない、つまり見せることのない表情のはずです。自分のお母さんを少女という捉え方は、幼い頃にはできなかった発想でしょう。だから、作者が高校2年生であるという、「いま」を同時に意識させます。

「アオイナミダ」大城 花帆

沖縄県立那覇工業高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●50mm ●A オート (f/4) ●ISO100

しばらくじっと見つめました、この写真を。すると勝手ながら、「青春」なんて言葉が浮かんできました。いい意味で、大人にとって価値がないと思えたり、意味がないことを一生懸命する姿にそんなことを感じる場面があるのですが、これはまさにそんな一枚です。みずから自分の鼻をはさみ、しまいには泣き出してしまったクラスメート。それをガラス越しに撮る作者。誰のため？ なんのため？ わかりません。だからこそ「青春」なのだと、おじさんは思いました。



「今日のワタシ、明日のワタシ」香川 桃子

香川県立坂出高等学校 3年
●D3200 ●AF-S DX18-55mm
●A オート (f/5.6) (2枚とも)
●ISO200、100

タイトルから想像するに、セルフポートレイトでしょうか。あるいは、友達にモデルになってもらい、そこにみずからの姿を投影しているのでしょうか。いずれにしても「ワタシ」という存在を見つめている作品に違いありません。二枚とも骨太です。力強いのです。中途半端な情緒とか、些細な感情なんてものを吹き飛ばしてしまいうそうです。でも、だからこそ、刻々と変化していく心情を写しているようにも見えるのです。そのアンバランスさが魅力です。

「本当の私はどこ」高橋 莉奈

香川県立坂出商業高等学校 2年
●D90 ●AF-S DX18-200mm
●A オート (f/8) ●ISO800

とても見応えのある一枚です。時間をかけて作られています。コンセプトにもとづき、根気強く形にしていたのでしょう。コメントには画面に写しだされた多くの自分の顔を「気味が悪かったです」という感想もありました。それがこの作品ではとても大事な部分な気がしました。自分と向かい合うことは、簡単なことでありません。さらにそれを人に見せることもまた。その葛藤みたいなものが、にじみ出ています。床に倒れている「私」もそれを強く感じさせます。



「降臨」福田 千紘

熊本県・八代白百合学園高等学校 2年
●D3200 ●AF-S DX18-55mm
●P オート ●ISO400

とても完成度の高い一枚です。竹林の間から実にきれいに光が降り注いでいますね。神々しくさえあります。さらに、それに甘んじず、光をよく見えています。それが完成度をより高めています。こんな写真は狙ったからといって、必ずしも撮れるとは限りません。天候など、そのときの状況に左右される要素が多いからです。でも、その場で見事に捉えた瞬発力、判断力こそが写真の腕ともいえます。ただ、タイトルが残念です。写真と言葉が正面衝突してしまい、力を消し合っています。

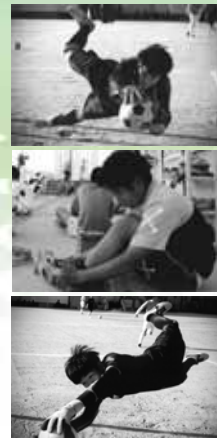
準佳作



「ヒトリ、アソブ」峰 ひかる

千葉県立四街道高等学校2年
シャワー室で撮った一枚とのことです。背後の窓からの光が大きなコントラストを生み、美しい。スカートのひらめきもいいですね。ただ、構図が中途半端です。もう少し引いて撮ってみてはどうでしょう。頭の先まで、窓枠全体を入れることで、シルエットがより強調されて、画面全体が締まったはずですよ。

アドバイス



「集中」湯口 陽香

和歌山県立神島高等学校3年

男くささ全開！見ていて気持ちのよい写真です。1枚目と3枚目は実に動きがあり、いい瞬間を捉えています。でも2枚目が残念。靴ひもを縛っているところでしょうか。ここも、前後と同じ動きのある写真がほしいところです。もはやボールが写っている必要などありません。例えば宙に浮いた足の先とか、顔の表情に寄ったものなど、前後と同じ緊張感を持続させることで、よりインパクトが強くなります。

アドバイス



1



2



4



5



6



7



8



9



12



13



14



10



11



15

1「見つめる」大澤 広喜 千葉県立四街道高等学校 3年
2「やわはだ」阿部 夢加 大阪府立成城高等学校 3年
3「破壊」土肥 瑞季 熊本県・八代白百合学園高等学校 2年
4「The fog」迎田 雪乃 熊本県・八代白百合学園高等学校 3年
5「思い通りにならない」藤原 恒平 愛知県立津島東高等学校 2年
6「目線」柏原めぐみ 鹿児島県立伊集院高等学校 3年
7「あなたがすぎ」北村 菜子 山口県立下松高等学校 2年
8「どうか気付けて…」木下 允喬 福井県立丹生高等学校 3年

9「思い出」武田 大地 宮城県柴田農林高等学校 2年
10「漁師」三浦 菜々恵 和歌山県立神島高等学校 2年
11「明日への門出。」山田 凌 香川県立坂出高等学校 3年
12「ボニーテル対決」堀 晴香 宮城県白石工業高等学校 1年
13「風」西口 悠莉菜 和歌山県立神島高等学校 2年
14「拉麺中-Fighting-」高田 晴奈 山口県立下松高等学校 2年
15「楽しい？遠足」片寄 志帆 島根県立松江南高等学校 2年

Photo Photo SALON 2014年度

中間発表！！

★1位 大阪府立成城高等学校 110ポイント

2位 山口県立下松高等学校 90ポイント

3位 愛知県立津島東高等学校／島根県立松江南高等学校 60ポイント

5位 宮城県白石高等学校／熊本県・八代白百合学園高等学校 50ポイント

7位 香川県立坂出高等学校 40ポイント

8位 大阪府立生野高等学校／和歌山県立神島高等学校／香川県立坂出商業高等学校／沖縄県立那覇工業高等学校 30ポイント

▶12位 (20ポイント) 千葉県立四街道高等学校

▶13位 (10ポイント) 宮城県柴田農林高等学校／宮城県白石工業高等学校／福井県立丹生高等学校／鹿児島県立伊集院高等学校

今回の応募点数は 2,000点超！！

次回 9月10日(水) 必着です！！

詳しくは同封の応募用紙、または次号を見てね！

どうもありがとう。次回もよろしく！

ガンバレ写真部!!



一見ゆるふわ...
やる時やトコトン!

今回訪ねたのは、「第2回TopEye高校生写真サミット」でグランプリに輝いた静岡県立下田高等学校。あの流れてレトロな作品(2014年2月号参照)を生み出したのはどんな学校?折しも季節は新緑豊かな初夏。日本晴れの爽やかな日に、おじゃましてきました!

静岡県立下田高等学校

最上段:OBの清野飛遊さん、顧問の斎藤先生、副顧問の森先生
2段目:藤井海くん、藤井龍平くん、小林日向くん、鈴木理央くん、寺田岳史くん
3段目:鈴木真歩さん、萩原珠梨さん、辻井来さん、鈴木里詩さん
4段目:鈴木茉莉野さん、上野末祐さん、土屋実さん、増田和奈さん
5段目:世理沙さん、土屋瑠衣さん、平川咲綾さん
6段目:重杉拓海くん、萩原龍之介くん、平原海音くん
7段目:相良真衣さん、梅田果穂さん、山崎万緒さん
最下段:石井沙季さん、土屋舞夏さん、加藤梨乃さん、鈴木夏美さん

部員: 30名!(3年4名、2年24名、1年2名+まだまだ募集中!)

活動: 金曜日に集まってミーティング、データ管理、校内で撮影。年に数回、校外撮影会。6月の文化祭では力作が数々出現!デジタル一眼レフカメラ1台、フィルム一眼レフカメラ4台、

機材: プリンタ1台、ノートPC1台、三脚、レフ板など。カメラはほぼ個人でも所有。

部室+暗室はあるけど狭いので、活動は別の教室で。

部費: 生徒会の年予算7万円プラス、月々部費200円。

部費節約のヒケツ: できるだけ自宅プリントする。展示用のフレームなどは100円ショップを活用!!

★昨年度の輝く実績!★

- ◎第2回TopEye高校生写真サミット/グランプリ&個人優秀賞1名、個人敢闘賞2名
- ◎第167回TopEyeフォトサロン/入選
- ◎CAPA月例フォトコンテスト 学生の部/入選
- ◎月刊カメラマン月例フォトコンテスト/金賞
- ◎下岡通杖写真コンテスト/下岡通杖特別賞、最優秀賞、入選、優良賞
- ◎人と建築 フォトコンテスト/建通新聞社賞
- ◎静岡県東部高校写真連盟コンクール 第1回/入選3点 第2回/特選1点、入選3点 第3回/特選3点、入選1点



公式「マスコット」部員とは?!!

「当部にはマスコットという役職がありまして」はい?なんすかそれは?と問うてみれば、「場の盛り上げ役です(笑)」とのこと。でも取材を進めるほどに、この子は天然、あの子はしゃべり魔、アイツは変ポーズが得意など、出てくる出てくる。部の良さを聞いたら「先輩・後輩との距離が近いのがいい」という声もチラホラ以上。なんだかフワッとした雰囲気の中に沸き立つ盛り上がり体質。だからマスコットも安心してハジケられるのだな、と納得。

こちらが「マスコット」の増田和奈さん。ドカンと盛り上げますぜ!



就任ばやばや!歌う顧問・斎藤先生

写真歴20数年!副顧問の森先生

それぞれの理想の一枚に近づく熱意!

撮影体験を楽しむみんなの間を駆け回り、好きな被写体や撮影のこだわりを聞いてみたら、みんなバラバラでびっくり。山に海と自然が豊かで人も温かく、題材には事欠かない。全体活動日が少なめなもの、メリハリをつけるきっかけか?あと特筆したいのは、一人ひとりの熱意であります。これと思った施設に率先して撮影交渉に行ったり、思うように撮れなくて涙したりというエピソードに、大器の予感。今後の展開が楽しみです。



そうは言っても大所帯!どう切り回す?

部員30人と言えば丸ごと1クラス分。連絡は大変だし、みんな揃ってどこかへ行くのも苦労しそう。斎藤先生も案じているようで「負担が集中しないようにグループ分担を考えています。データ管理に撮影企画、展示の飾りつけを任せる工作班...」その他、活動日を増やすなども考え中。「あ、校内外の印象度も考えて、規律も少しは(笑)」ごもっとも。でも楽しさ優先でGO!ですね。



写真を通じて感性を磨こう

高文連から 静岡県高等学校文化連盟写真専門部長 齋藤作行

本県の高文連写真専門部には約50校、1,050人の部員が加盟しています。普段は下部組織である東部、中部、西部高写連において、それぞれ独自に講習会、コンクール、撮影会などで腕を競っています。年間唯一、合同で行うのが県高等学校写真コンクールです。この大会が次年度の全国高総文祭の県予選となります。約3,000点の感性豊かな作品が集まります。レベルも年々上がっています。今回紹介された県立下田高校はたいへん活発な活動をしています。



「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集中!!編集部が学校に行ってお取材します。応募先は裏表紙をみてね!



わくわく デジタル写真ゼミ

第7回

一時限目 **ドキドキでも声かけよう!** by レンネ

知らない人を撮影する時の基本マナー!

- マナー1 まずは笑顔であいさつ!
いきなりカメラを向けてバシャ、は絶対ダメ。
まず笑顔であいさつしてコミュニケーションをとろう。
- マナー2 なるべく撮る前にOKを!
必ず相手のOKのもとに撮影。撮影後に承諾を求める場合、
「ダメ」と言われたら画像は消すこと。
- マナー3 撮ったら相手に見せてお礼!
お礼を言って、モニターで写真を確認してもらう。
後でお礼にプリントを送るのもいいね。
そんな時は住所も聞こう。

基本は
「自分がイヤなことは
人にもしない」ことだよ。

「ショーゾーケン」
とかわかると、
ちょっとコワイです(涙)。
知らない人にカメラ
向けられなく
なっちゃいそう...

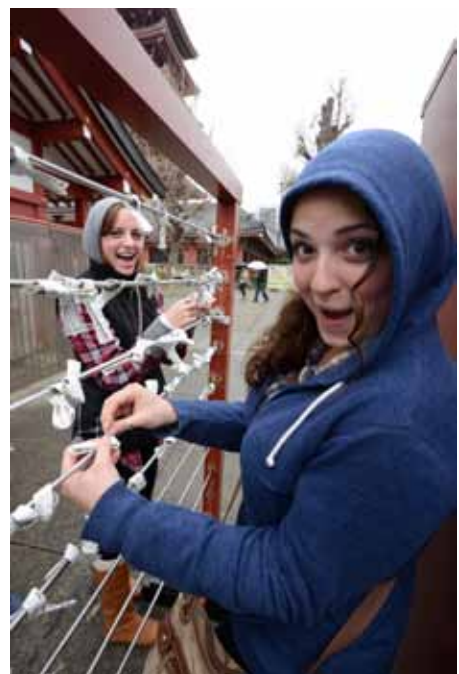
大丈夫!
つまりはちゃんと相手に
「承諾」をもらえば
いいんだよ。

そっか!
つまりお友達に
なっちゃえばいいのね!
それならアタシ得意だわっ!

で、さっそく撮影!

画題

ニッポン大好き



「はろー、カメラ
OK?」って話しかけたら、
こんな顔してくれちゃった!

いきいきとステキな
表情だね。良い写真は
良いコミュニケーションから!

はにかみ屋さんの女の子だった
んだけど、お母さんが協力
してくれました!

子どもの場合、お母さん
と一緒にだと柔らかな表情
が撮れるね。相手への
思いやりを忘れず、いい
スナップをね!

画題
小さな店長



人物スナップには 「オキテ」があるぞ!!

街へ出て撮影するのも楽しい。時には見知らぬ人たちにカメラを向けたいこともあるよね。でもここでハズせないのが、「肖像権」への配慮。個人を特定できるような写真を、相手の許可なく撮影するのは基本的に「~~ダメ!!~~」と考えて欲しい。じゃあどうすればいい?それが今回のテーマだ!

二時限目 **実は「黙って撮影OK」のことも!** by シャツ太

知らない人を承諾なしで撮れるのは...

- OKケース1 不特定多数を撮影する時
雑踏とかお祭りの風景など、不特定多数の人々が写っている写真なら、承諾は必要ないよ。
- OKケース2 顔がはっきり写っていない時
顔がブレている、ボケている、または何かで隠れているなど、誰かわからないような撮り方なら問題なし。

実は、承諾を得なくても
大丈夫なこともあるのだ。
こんな場合だよ。

で、さっそく撮影!

画題

いつまでも一緒



遊園地の遊具に乗ってる
人のいろんな
表情を狙いました!

考えたね。それぞれの人の
一瞬の表情をよく捉えている。
肖像権的にも問題なし!

後ろ姿が、田舎の
おじいちゃんとおばあちゃんに
似てるなあって。

これもいい。
承諾の必要はないし、
どんな表情が想像を
促す効果も出ている。

今回のまとめ、オホン!

肖像権に配慮するのは最低限のマナー。でも、被写体とコミュニケーションをとるのは撮影の楽しみでもある。いろんな人に声をかけて撮らせてもらうのが、上達の道だ。がんばってね!

お疲れさん!
さて次回は
街や自然をレンズで捉える
「風景写真」を勉強するよ



Sverige (Sweden) より

父が俳優だったので、カメラが身近にある家庭環境でした。父を取材するカメラマンの方が時々遊び相手をしてくれ、機材をワクワク触ったのを覚えています。学生時代はスキー部でしたが、合宿先の宿で見たモノクロの雪山写真に惹かれ、「次は写真だ」と思いました。写真学校に行きたかったけれど、俳優業が忙しくてね。デビューした映画の撮影監督にテクニックを教わったほか、本や雑誌から学んだ知識と自分の撮影経験をもとに実践ノートをつかった。自分の興味を自分で突き詰める、「これこそ勉強だ!」と思いましたね。ドキュメンタリーの仕事などで旅行する時、個人的に写真を撮りためてきました。発表を始めたきっかけは、片岡鶴太郎さんに「人に見せることで作品が引き締まる」と言われたこと。ギャラリーを紹介してもらい、ネパールで撮った作品を発表したのを皮切りに、時々個展をやっています。今年は、ペレイマンの映画『野いちご』の舞台をたどる番組で撮った写真の展覧会を開きました。吸い込まれるような情景が素晴らしい映画です。モノクロへのこだわりはありますね。原点が雪

山だったからか、もしかすると幼稚園の頃に通った木炭画教室の影響もあるかも知れませんが、デジタル写真は、失敗を恐れずたくさん撮れるのがいい。でもセレクトが数倍大変ですよ。フィルムはその場で確認できないので、準備を周到にやる分、セレクトは楽かも知れない。結局、大変なのが撮る前か後かの違いかもしれませんけど。自分の感覚と直につながった、と感じた時にシャッターを切ります。「触りたい」とか「この風景の中に入りたい」とかね。掲載写真のおじさん、縦横に走ったシワの形がすごいでしょ。この質感をどうしても残したかった。「撮るべき」と感じたら、車の運転も食事でも中断してカメラを持ちます。撮らないとずっと後悔しますから。残したいものが明確なら、多少傾いてもピントが甘くても、良いものは撮れるはずですよ。今後またたびたび、小規模でも発表を続けたいと思います。次は、南房総あたりを舞台にミニサイズの写真集をつくりたい。里山など日本の原風景が残るいい所です。撮影会にもおすすめです。

穴戸 開

Profile

(しど・かい) 1966年、東京都生まれ。玉川大学在学中にNHK大河ドラマ「武田信玄」で俳優としてデビュー。映画デビュー作「マイフェニックス」で第13回日本アカデミー賞新人賞を受賞。以後、映画、テレビドラマ、ドキュメンタリー、CMなどで幅広く活躍。最新出演作は映画「テルマエ・ロマエⅡ」(2014年)。無類のカメラ好きとして知られ、「五影 開」の名前で写真家としても活動。写真集に「もっと高く、もっと遠くへ 穴戸開の世界 Nepal 1997」、「マフィッシュ ムシュケラ」(エジプト)、「FARDA あした」(イラン)。2014年1月に写真展「Sverige (Sweden)」開催。



読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問! SENPAI-file.11



ふるさとの魅力を写真で伝えたい!

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。数年後のキミがここにいる!?

写真部時代の思い出を聞かせてください。

今のお仕事や活動の事を教えてください!

中学時代、県の環境フォトコンテストで受賞したのをきっかけに八代白百合の先生に声をかけていただき、入学と写真部入部を決めました。旧鉱山の撮影で廃墟にハマったり、商店街で買い食いしたり、真夏の海ではしゃいだり、思い出はキリがありませんが、撮影はとにかく楽しくて一所懸命やってみました。

TopEye賞受賞の思い出をお願いします!

卒業まぎわにTopEye賞をいただいた作品は、知り合いの親子にお願いして、お風呂で1時間近く撮影させていただいたもの。その他にも地元の人々や部員仲間、先生、そして両親と、たくさんの人にお世話になって今の私がいるということ、受賞以後は考えるようになりました。それに撮影するうち、改めて地元の良さが見えてきて、このことを広く伝えたい、地域に役立つ仕事がしたいという思いから、地元の役場に就職しました。



青年団などの撮影活動のひとコマ。故郷を記録する活動はライフワークになるかも?



村のゆるキャラ「サガラッパ」と一緒に。

写真教室レポート

絶賛出張中!

TopEye出張デジタル写真ゼミ

全国各地の写真部と、ニコンのカメラを使って一歩進んだ撮り方を学ぶデジタル写真ゼミ。この春は北海道と東京で行いました!

北海道編



4/29 北海道恵庭南高等学校
写真部員11名+顧問の先生2名



5/11 北海道札幌平岡高等学校
写真部員12名+顧問の先生1名

北海道を拠点に活躍中の旅する写真家・浅野久男先生を講師に迎え、講座～撮影実習～講評の充実メニュー。「一眼レフ初めて」の1年生部員さんもたくさん。ワクワクな1日でした!

東京編



5/11 トキワ松学園高等学校
参加校: トキワ松学園高等学校、東京学園高等学校、都立南葛飾高等学校
生徒21名+顧問の先生3名

写真大好きな都内の3つの写真部の合同授業。露出設定や被写界深度など「何となく」だった知識を、撮影実習で実践! ちょっとした小ワザを習ったり、講評で自分の思わぬ良さを知ったり。みんなひと回り大きくなったかな?

参加校募集

あなたの街にも出張します!!

お申し込み、お問い合わせ

ニコン トップアイ編集部(株式会社ニコンイメージングジャパン)
E-mail: topeye@nikon.com



シルバー P D

Nikon 1 J4 4/24発売

ニコン CX フォーマット	有効画素数 1839 万画素	ISO感度 160～ 12800
高速 連続撮影 AF追従 約20コマ/秒	動画撮影 フルHD 1080/60p	



ホワイト P D



ブラック B P D



オレンジ P (受注販売)

世界最速※の高速連写と1839万画素の高画質。
Wi-Fi機能内蔵で、
捉えた感動をすぐにシェア。

- オートフォーカス追従で世界最速約20コマ/秒の高速連写性能
- シャッターの瞬間の前後20コマ(1秒間)からベストショットが選べる
- シャッターチャンスを選んで撮れるスロービュー
- 高速で正確なアドバンスハイブリッドAFシステム

【注】 P ボディのみ P 標準パワーズームレンズキット (1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM付属) D ダブルズームキット (1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM、1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6付属)



ホワイト P D

Nikon 1 S2 6/5発売

ニコン CX フォーマット	有効画素数 1418 万画素	ISO感度 200～ 12800
高速 連続撮影 AF追従 約20コマ/秒	動画撮影 フルHD 1080/60p	



レッド D



ブラック B P D



イエロー P (受注販売)

ポップでカラフルなミニマルボディに
世界最速※の高速連写を搭載。

- オートフォーカス追従で世界最速約20コマ/秒の高速連写性能
- シャッターの瞬間の前後10コマ(1秒間)からベストショットが選べる
- 高速で正確なアドバンスハイブリッドAFシステム

もうすぐ締切!!

第62回ニッコールフォトコンテスト 第4部『U-31』部門 作品募集中!!

7月7日(月) 必着!

- 応募資格 30歳以下の方
(2014年3月末現在)
大賞賞金 30万円
大賞賞品 ニコン D610 レンズキット



TopEye 配布校 一括応募 制度も!

本誌「TopEye」をお届けしている学校の写真部から、
「U-31」部門に一括応募ができますよ! (WEB応募は除く)
詳しくはニッコールクラブ事務局
(TEL: 03-3769-7951)まで。

詳しくはWEBで!!

ニッコールフォトコンテスト

検索

注意 TopEyeフォトフォトサロンや他のフォトコンテストへ、二重応募をされませんようご注意ください。(ノミネートを除く)

皆さんの
投稿歓迎!!

投稿の際には
忘れずに書いてね!

「ガンバリ写真部」の
応募もヨロシク!!

- ①学校名・クラブ名 ②あなたの住所
③氏名 ④電話番号
⑤使用可能なメールアドレス

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 201
(株) アドバタイズ TopEye 編集部宛
E-mail: topeye@nikon.com FAX (03) 5148-0566
※フォトフォトサロンの宛先とは異なります。ご注意ください。

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/activity/salon/>

赤い字は、トップアイ仲間の
作品が観られる写真展だよ!

銀座ニコンサロン

(03) 5537-1469
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 太田昭生「溶融の時(ハンセン病療養所大島)」 6/4~6/17
- 大西みつぐ「放水路」 6/18~7/1
- 神田開主「地図を歩く」 7/2~7/15
- 城野智子「結界」 7/16~7/29
- 沈 輝「棚田の民」 7/30~8/12
- (会期中8/9・10 休館)
- 菊地一郎「標置Ⅱ」 8/13~8/26
- 石川博雄「風景の消息」 8/27~9/9
- 石川直樹「国東半島」 9/10~9/23
- 若杉憲司「模写グラフィック [陰翳/Shadows]」 9/24~10/7
- 門山大介「Throw a boomerang」 10/8~10/21

新宿ニコンサロン

(03) 3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 高田啓一「夢を追いかけて」 6/10~6/23
- Juna21 山野雄樹「降灰の鳥」 6/24~6/30
- 三吉和寿「Hidden Charms」 7/1~7/14
- Juna21 熊野寛喜「地上の欠片」 7/15~7/21
- 大橋晃児「Roadside LightsⅡ」 7/22~8/4
- 鹿河拓大「針音」 8/5~8/16
- (8/17・18 休館)
- Juna21 矢口清貴「パイパティローマ」 8/19~8/25
- 渡辺 暁「1968 新宿」 8/26~9/8
- 井上尚久「日常の知覚」 9/9~9/15
- 全日本写真連盟「全日本写真展2014」 9/16~9/22
- Juna21 阿部祐己「新しき家」 9/23~9/29
- 声沢武仁「曲芸のタビロー」 9/30~10/13
- 高木忠智「dusty shine」 10/14~10/27

ニコンサロンbis新宿

(03) 3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 青山茂明「失われゆく原風景を求めて」 6/10~6/16

- ニッコールクラブ「地中海の青い風と色彩あふれる
南イタリア」海外撮影ツアー作品展 6/17~6/23
- Juna21 北澤一朗「Viva México」 6/24~6/30
- 日本大学芸術学部写真学科「出て来い新人3-日本
大学芸術学部写真学科鋭学生写真展」 7/1~7/7
- 柿本完二「ふるむ」 7/8~7/14
- Juna21 田中崇嗣「ILLUMINATE THE PERIOD」 7/15~7/21
- 石田 榮「明日への希望を求めて働く一世紀前の証一」 7/22~7/28
- 京都新聞出版センター「花也」 7/29~8/4
- 小林伸太郎「境川の流れるように」 8/5~8/16
- (8/17・18 休館)
- Juna21 木村里奈「不確かな存在」 8/19~8/25
- 石山榮一「自然のカ サンドビクチャー」 8/26~9/1

- 全国高等学校文化連盟「第38回全国高等学校総合
文化祭写真展優秀作品展」 9/2~9/8
- デジスコ倶楽部「第11回デジスコ写真展」 9/9~9/15
- 山崎 茂「駅・駅前」~昭和50年代」 9/16~9/22
- Juna21 浅見俊哉「呼吸する影一Shadow of
Bombed Trees一」 9/23~9/29
- 山本富久「The messages of the Rocks」 9/30~10/6
- 藤井克己「コウノトリ、再び大空へ」 10/7~10/13

大阪ニコンサロン

(06) 6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 第33回土門拳賞受賞作品展 桑原史成「不知火海
The Minamata disease Disaster」 6/5~6/18
- Juna21 小野淳也「相槌は残りの歳月に染みをつける」 6/19~6/25
- Juna21 池上 諭「目の前の山」 6/26~7/2
- ニコンサロン特別展 石川文洋「戦争と平和・
ベトナムの50年」 7/3~7/16
- 金村 修「Ansel Adams Stardust(You are not
alone)」 7/17~7/23
- Juna21 浅井寛司「標高4000Mの祈り」 7/24~7/30
- Juna21 山下隆博「心の温度」 7/31~8/6

- 2014年ニコンサロン特別企画展 Remembrance
3.11 土田ヒロミ「フクシマ」 8/7~8/20
- (会期中8/16・17休館)
- 太田昭生「溶融の時(ハンセン病療養所大島)」 8/21~8/27
- 松野良樹「blinkers」 8/28~9/3
- 大西みつぐ「放水路」 9/4~9/17
- Juna21 山野雄樹「降灰の鳥」 9/18~9/24
- Juna21 熊野寛喜「地上の欠片」 9/25~10/1
- 第20回酒田市土門拳文化賞受賞作品展
山本真弓「風の民」 10/2~10/8
- 高田啓一「夢を追いかけて」 10/9~10/15

ニコンサロンbis大阪

(06) 6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 京都新聞出版センター「花也」 6/12~6/18
- Juna21 秋元美穂「川」の字」 6/19~6/25
- Juna21 寺倉弓恵「離れても近間」 6/26~7/2
- ニッコールクラブ「地中海の青い風と色彩あふれる
南イタリア」海外撮影ツアー作品展 7/3~7/16
- 後藤安男「過ぎてゆく景色」 7/17~7/23
- Juna21 河田幸大「People are People」 7/24~7/30
- Juna21 森田剛史「キノコ」 7/31~8/6
- ニコンレジャ・エキスパートコース第1期卒業作品展
「魅力的な風景」 8/7~8/20
- (会期中8/16・17休館)
- 全国高等学校文化連盟「第38回全国高等学校総合
文化祭写真展優秀作品展」 8/21~8/27
- 武田憲幸「体書写真」 8/28~9/3
- 藤井克己「コウノトリ、再び大空へ」 9/4~9/10
- やえす・しゃらく支部「第2回写真展 四季との出逢い」 9/11~9/17
- Juna21 北澤一朗「Viva México」 9/18~9/24
- Juna21 田中崇嗣「ILLUMINATE THE PERIOD」 9/25~10/1
- 未定 10/2~10/8
- デジスコ倶楽部「第11回デジスコ写真展」 10/9~10/15

ニコンプラザ仙台 フォトギャラリー

(03) 3769-7951 日・祝休館
9:30~18:00(最終日は15:00)

- 南 正一「消さないで」 6/11~6/24
- 写真塾ばうら「第1回 写真塾ばうら写真展 一景一」 6/25~7/8
- ニッコールクラブ仙台支部 支部展 7/9~7/22
- 岩手県金石市立唐丹中学校
「百戦不撓 -KEEP ON CHALLENGING-」 7/23~8/5
- 日刊スポーツ新聞社写真部「第2回バガタ仙台報
道写真展 ~希望の光 戦いの奇跡~」 8/6~8/19
- ニッコールクラブ「第61回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展」 8/20~9/2
- 田中健作「田中健作写真展 "Tsunami Marks"」 9/3~9/16

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね!
ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。

URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

TEL: 03-3769-7960